

ここのえ学園に係る 第2回 九重町教職員等全員研修会

8月21日（月）に、2回目の九重町教職員等全員研修会を行ないました。

今回の研修の柱は2本。1本目は、人権教育実践交流です。ここのえ学園基本計画に基づき、小1～中3までの系統性を考えた共通教材（“同和問題”と“障害者に関する問題”）を二つ選定し、授業実践を行なっています。この日は、小1～小6までの6つのグループに分かれて同和教育の実践交流を行ないました。中学校等の職員も小学校のグループに参加しました。

2本目は、小学校の外国語の実施に向けた説明会です。大分県教育庁義務教育課の小田課長補佐を招き、外国語科導入の趣旨や指導の在り方について説明を受けました。

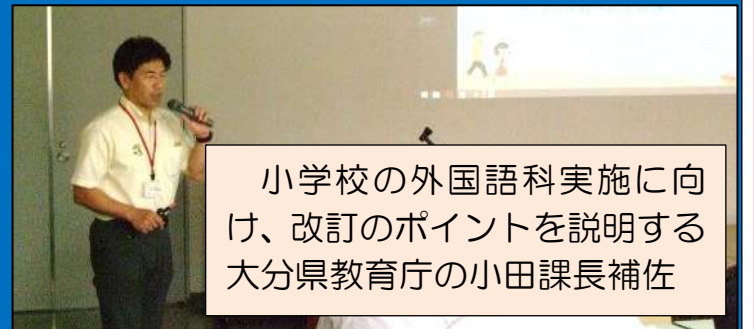
開会行事で、
研修内容と日
程を説明する
小幡参事



人権教育実践交流
の前に、部落差別解消
推進法と学校におけ
る人権教育との関連
について説明する尾
方指導主事



小学校の外国語科実施に向
け、改訂のポイントを説明する
大分県教育庁の小田課長補佐



※小6グループは、社会科における部
落問題の実践交流も行いました。

・共通教材
「やぶれたたいこ」
・ねらい
被差別部落の人々の差別撤廃にむ
けた闘いに学び、今後の生き方の教訓
とすることが出来る。



小6グループ

・共通教材
「おじいさんの太鼓づくり」
・ねらい
太鼓づくりの行程や文化を継承す
る職人の誇りや願いを知る。職業
や住んでいる所によって差別され
てきたことのおかしさを考えるこ
とができる。



小5グループ

・共通教材
「はたらく人」
・ねらい
仕事に対する誇りや生きがいの基
礎を育てる。



小4グループ

・共通教材
「クレヨンのはぬすんだのじゃねえ」
・ねらい
物事を偏見や差別で決めつけては
いけないということに気づかせ、自分
たちの生活をふりかえる。



小3グループ

・共通教材
「ともだちって いいな」
・ねらい
友だちの良いところを伝え合うこ
とで、より良い友達関係を築こうと
する態度を育てる。



小2グループ

・共通教材
「われたかびん」
・ねらい
物事を自分で確かめて判断する大
切さに気づかせる。



小1グループ

※ ここのえ緑陽中学校の実践も
6グループの中で交流されました。